

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	わかさぎ増殖事業	3-4
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	3
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	企画経済部農林水産課	直通電話	72-3164
担当部長	佐々木 隆哉	担当課長	配野 秀樹
		担当者	藤原 信幸

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	受精卵の購入と地場わかさぎ採卵による増殖事業を行う石狩湾漁業協同組合に対し、事業費の3割以内の補助金を交付する。		
(2)事業開始年度	昭和29年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ	元気で活力あるまち	
	施策項目(大)	水産業の振興	
	施策項目(小)	つくり育てる水産業の確立と後継者などの育成	
	施策コード	30201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	わかさぎ資源の維持と計画的な漁業生産により、漁家経営の安定化を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	わかさぎの人工ふ化から放流までを実施し、わかさぎの資源の増大を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	網走及び西網走産の受精卵をふ化ぼん及びふ化瓶(ハツソグジャー)を使ってふ化させ放流する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	・ハタハタ増殖事業 ・ウニ・アワビ種苗放流事業
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	534	428	481	457
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	1,813	1,740	1,884	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	2,347	2,168	2,365	
事務に従事した正職員延べ人数	0.21	0.21	0.21	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)	534	428	481	457		種卵購入費	1,155	814	1,417	1,575
入	自己負担	1,245	999	1,378	1,343	資材費	13	24	6	15	
						占用料	164	187	212	180	
						その他	447	402	224	30	
	計(B)	1,779	1,427	1,859	1,800	出					
	(A/B)	30.0	30.0	25.9	25.4	計	1,779	1,427	1,859	1,800	

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
受精卵購入数(百万粒)	目標値	300	230	300	200
	実績値	220	155	270	
	達成率	73.3	67.4	90.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
漁獲量(トン)	目標値	130	100	38	60
	実績値	47	32	61	
	達成率	36.1	31.6	160.5	
漁獲高(千円)	目標値	33,000	25,000	10,260	16,200
	実績値	13,285	9,374	16,910	
	達成率	40.3	37.5	164.8	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性			
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	
(2) 効率性			
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(3) 公平性			
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(4) 有効性			
ア 施策との関連	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1	
イ 成果	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
ウ 事業内容	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	2	
(1)~(4)の評価ポイント合計			
総合評価の参考にしてください。			
7~11		A or B	13
12~15		B or C	
16~21		D or E	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	漁業者の高齢化が進む中、内水面漁業の活性化対策として重要な役割をはたしており、一定の成果をあげている。	
(2) 今後の方向性・課題		ふ化率及び健康な稚魚の育成技術の向上を図り、今後も本事業を継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
D	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	内水面漁業振興策としての本事業の意義は否定できないが、長期にわたる事業はすべからず現状維持でよいのかどうかについて、一定サイクルでの検証が必要である。本事業についてはそうした検証が行われていないので、D評価とした。	
(2) 今後の方向性・課題		事業効果や補助金支出の必要性について、H21年度中に生産者側と検証する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		検証結果が出るまでは現在の事業内容を継続する。	